



データビジネス創造コンテストとは？

日経ビッグデータ主催の《BigData Conference 2014 Spring》の一環として行われたコンテストです。コンテストの主催は、慶應義塾大学SFCデータビジネス創造・ラボでした。全国の高中生や大学生が多数応募する中、予選を突破したのは、高校生5件、大学生7件でした。

4/19(土)にそれぞれのアイデアがプレゼンされ、4/23(水)に表彰式が行われました。毎日数十億といわれるtwitterでの「つぶやき」をリアルタイムで分析するNTTコムのソフト (Buzz Finder) を使って、新たなビジネスを創造しようという趣旨で行われました。本校はSSH 課題研究 (数学チーム4名) が代表として参加しました。 <http://dmc-lab.sfc.keio.ac.jp/prize/>



最優秀賞

花粉症患者のつぶやきを社会の意志決定に活かしたい
 長野県立 屋代高等学校
 若林 和哉 坂口 美乃里 堀口 恵莉菜 市ノ瀬 弘祐 (横澤 克彦)

審査員コメント

最初に結論を堂々と提示したところがあった！花粉症という時宜を得たテーマ選択に加え、男女の違いを解析する着眼点や、新しい事実(くしゃみの次の日は鼻づまり)が出ているのが面白い。質疑応答に対する回答も明確で、内容もプレゼンも非常に質の高い研究でした。大学生を抑えて堂々の最優秀賞です。

第1回データビジネス創造コンテスト 入賞者一覧

		応募者・作品情報			
本選No		区分	学校名	参加者名	タイトル
3	最優秀賞	高校	長野県屋代高等学校 (やしろう)	若林 和哉 坂口 美乃里 堀口 恵莉菜 市ノ瀬 弘祐 (横澤 克彦)	花粉症患者のつぶやきを社会の意志決定に活かしたい
11	優秀賞	大学院	慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科	渡辺 真弓 佐藤 智絵 毛利 有希子 芥川 麻衣子	我が子との幸せな時間のために - ソーシャルメディアを使用した育児の実態の把握と対応に関する分析 -
9	審査員特別賞	大学院	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科	村上 敏也	ソーシャルメディア解析による地域ブランド構築と地域活性化のためのマネジメント・サービスの実現
8	未来創造賞	大学	九州工業大学 廣瀬研究室	小柳 祐貴	twitterで潜伏期間を早期推定
1	高校生部門賞	高校	熊本県立 玉名高等学校 (たまな)	友田 亜葵 小川 晃幸 三嶋 莉奈 (光浦 弥幸)	交通の一体化(一)★
10	NTTコム オンライン賞	大学院	東京大学大学院情報理工学系研究科数値情報学専攻	藤山 俊文 株田 達矢 (竹村 彰通 松井 千尋)	投稿数時系列データの「ベキ減衰モデル」を用いた消費税増税の消費者への影響の評価

受賞した
上位6チーム